

印刷

こんにちは、NPO法人日本オランウータン・リサーチセンター(おらけん)です。

おらけんの活動に賛同いただき寄付をくださった皆様に、メールマガジンを送信いたします。
{EMAIL}宛てにお送りいたしております。

おらけんの活動報告や今後の予定などについて、適時配信予定です。
よろしくお祈いします。

2月号をお届けします！

=====

おらけん金森の

ダナムバレイ通信 24

=====

2月にマレーシア・ダナムバレイに行き、野外調査に参加してきました。

2月は、オランウータンの主食である果実が少なく、オランウータンが見つかりにくい季節です。

さらに、私が訪問した時期はゾウの集団が調査地にとどまっていたので、森の中を自由に歩けませんでした。

加えて、毎日雨が降っており、調査を強行できない要因が重なりました。

それでも、雨が止むたびにオランウータンを探しに出かけましたが、残念ながら、オランウータンを見つけられませんでした。

長く調査をしていれば、うまくいかないときがあるのは何度も経験済みです。

こういうときは、アシスタントたちと普段は忙しくてできないおしゃべりを楽しみます。

こういう時間の積み重ねもまた大事なのです。

今回は、アシスタントのガブリエル君の植物の知識が増えていて、成長した姿を確認できたのが、何よりの収穫でした。

彼の将来が楽しみです、そのために、私たちが彼をよい方向に導けるよう、がんばらなければと思いました。

=====

ママライフをもっと楽しむための応援マガジン 「クルール」

オランウータン研究者・久世濃子の月一回連載「コソダテ進化論」

現在第11回まで公開中

=====

●北関東地域の育児フリーマガジン「クルール」で、おらけん久世の月一連載「コソダテ進化論」がネット配信で順次公開中です。

第11回「赤ちゃん返り」が起るのは、子育ては「親の投資」をめぐる駆け引きだから。

↓

<https://tochigi.couleur-mama.net/topics/24450/>

第10回「なぜこんなに大変なの？」産後すぐ母乳が出ない納得の理由

↓

<https://tochigi.couleur-mama.net/topics/23740/>

第9回 なぜヒトの愛は「4年」で終わるのか

↓

<https://tochigi.couleur-mama.net/topics/23199/>

今までの一覧はこちらからご覧いただけます。

<https://tochigi.couleur-mama.net/?>

[s=%E3%82%B3%E3%82%BD%E3%83%80%E3%83%86%E9%80%B2%E5%8C%96%E8%AB%96](https://tochigi.couleur-mama.net/?s=%E3%82%B3%E3%82%BD%E3%83%80%E3%83%86%E9%80%B2%E5%8C%96%E8%AB%96)

第8回 子どもを「選別」するヒトのお母さん、「選別」しないサルのお母さん

第7回 なぜヒトには、動物の世界には珍しい「おばあさん」が存在しているのか

「番外編」は大型類人猿チンパンジーのホットニュース！

第6回 ヒトが今生きているのは、男性が「雄」から「お父さん」になったから。

印刷 人目はいつ？」ヒトにとって“自然な”出産間隔とは何歳差か

第4回 「こんなに小さくても、サルじゃなくてヒトなんだ」娘に初めて感じた「ヒトらしさ」

第3回 ヒトは、「食べ物を分け与えることに、喜びを感じるサル」である。

第2回 現代人は、大人になっても「離乳食」を食べている!?

第1回 赤ちゃんに「背中スイッチ」があるのは、「アフリカで肉食動物に襲われないため」

=====

大牟田市動物園主催

「5/5 ライブ配信！インドネシアのスマトラ島におけるオランウータン保全活動」

=====

●5月5日（日）13時半より、インドネシアのスマトラ島でオランウータンの保護や保全活動に従事する獣医師のリッコ氏を迎え、YouTubeによるライブ配信でのイベントが開催されます。

野生復帰が困難な保護されたオランウータンを飼育、また多くの人にオランウータンの保護活動を知ってもらうだけでなく、総合的な環境教育や情報発信の場としても活用する施設「オランウータンハイブン」で、現在リッコ氏はこの施設を管理する立場で活動されています。

●おらけんスタッフ川嶋が2017年にスマトラオランウータン保全団体O I Cを初訪問した時、今回講演されるリッコさんにお会いし、お話を聞きました。

リッコさんが素敵な笑顔で迎えてくださり緊張がほぐれたことを覚えています。

また翌年はおらけんメンバーで開園前のオランウータンハイブンを視察しました。ディレクターのイワンさんが一緒に広い敷地内をまわり、説明してくださいました。

いよいよオープンしたとのことで興味津々です！

ご都合つく方は是非ご参加いただければと思います。

イベントについて、詳しくは下記の大牟田市動物園公式サイトにてご確認ください。

↓

<https://omutacityzoo.org/announce/?p=5182>

=====

日本モンキーセンター

「第68回プリマーテス研究会」レポート

=====

●2月4日、愛知県犬山市の日本モンキーセンターに於いて、「第68回プリマーテス研究会」が開催されました。

おらけんの中村は、「ボルネオオランウータン(Pongo pygmaeus)とヒトの喉頭の形態的評価」の発表をしました。口頭（こうとう）で喉頭（こうとう）の発表です。おやじギャグですみせん！

喉頭は、咽頭（いんとう）と気管をつなぐ管状の器官で、気道（空気の通り道）の一部です。内部に声帯ヒダがあって発声器官としての働きがあります。喉頭には、いくつかの軟骨で構成された支柱のような枠組みがあって、そこにたくさんの小さな筋が付着しています。今回は、それらの内喉頭筋のうちの特に輪状甲状筋の筋束の形態と走行の方向についてオランウータンとヒトの標本を比較した内容で発表しました。今後は、その他の内喉頭筋や神経の解剖学的観察、切片標本を作成して組織構造の観察等を行います。オランウータンの生物学的な特徴を知ることによって健康な飼育動物だけでなく高齢や疾病個体の健康管理にも寄与したいと考えています。オランウータンの健康長寿が私の願いです。

=====

多摩動物公園の売店で販売中！

オランウータンのイラストが素敵なTシャツ

=====

京都アパレルメーカーJAMMINとおらけんのコラボ企画、オリジナルデザインのオランウータングッズ「FORESTWISE」のTシャツを、東京都日野市にある多摩動物公園の売店で販売していただいています。

●FORESTWISEについて

熱帯の激しい雨の中、オランウータンは木の葉の雨傘をさしてしのぎます。

これも彼らが厳しい環境を生き延びた知恵のひとつです。

印刷 WISE（森を生き抜く知恵）という言葉には、

厳しい環境を生き抜くオランウータンへの畏敬の念をこめました。

デザインにこめたメッセージはこちらから

↓

<https://jammin.co.jp/2021/12/09/this-week-design-oraken/>

=====

支援して下さる賛助会員を募集しております

=====

昨年、法人としては初めて、小川珈琲株式会社が当団体の賛助会員になってくださいました！

おらけんと小川珈琲は、同社がスマトラ島のコーヒー豆生産農家とオランウータン保全プロジェクトを支援する「オランウータンコーヒー」プロジェクトに取り組んでいることを通じて知り合うことができました。

美味しいコーヒーを提供することでオランウータンの森を守りたい、という小川珈琲の理念に深く共感したおらけんは、毎年8月をオランウータン月間と定めて様々なイベントを共に開催してきました。

(以下、外部サイトへジャンプします)

オランウータン月間イベント

<https://www.oc-ogawa.co.jp/news/2045/>

オランウータンの森 絵画コンクール

<https://www.oc-ogawa.co.jp/news/2157/>

オランウータンコーヒー

<https://oc-shop.co.jp/collections/orang-utan>

小川珈琲とおらけんはこれからもオランウータンのために活動を進めてまいります。

●日本オランウータンリサーチセンター（おらけん）の理念に賛同し、活動を支援して下さる賛助会員を募集しております。

=====

継続して活動に取り組むための

ご寄付のお願い

=====

●日本オランウータン・リサーチセンターの活動は、会員様からの会費とご寄付によって支えられています。

皆さまからのご寄付は、オランウータンの調査や保全活動、講演会のために大切に活用させていただいております。

オランウータンを守るためにも、ぜひ皆さまからのご支援をお願いいたします。

◇【賛助会員】

当NPOの活動理念に賛同し、団体の活動を応援・支援して下さる会員様を募集しています。

<https://congrant.com/project/orangutan/5575>

●ご注意ください！賛助会員は2024年1月より、都度決済から継続決済（年に1回の自動引き落とし）に変更になります。

<https://congrant.com/project/orangutan/5575/form/step1>

◇【1回の寄付】

1回ずつその都度ご寄付いただく単発の寄付も募集しています。都度寄付は皆さまがご支援いただけ
印刷 なタイミングで、その都度ご寄付いただくプランです。ご寄付の時期や金額もその都度、自由にお決めいただくことができます。

https://congrant.com/credit/form?project_id=2057

◇【毎月の寄付】

毎月少額のご寄付をいただき活動を支えるマンスリーサポーターの方を募集しています。お支払いは月額1,000円・3,000円・5,000円からお選びいただけます。

https://congrant.com/credit/form?project_id=2058

=====

【編集後記】

東京の山ではシカやカモシカに会えるかもしれないので、会えるとうれしいなと思いながら歩きます。

先日、幸運に恵まれ、1頭のカモシカに会うことができました。

ほとんど下山したところ、馬酔木の花がちょっとだけ咲いているような場所でした。

日本の固有種であるカモシカは単独で暮らしています。

こちらを見ながら、悠然と反芻していました。

調査地でも、滞在中にオランウータンに会えないということもあるのですね。

私がかモシカに会えたのは、ほんとうにラッキーだったのだと思います。（那須）

今後もオランウータンについて様々な情報を発信していきますので、オランウータンや研究のことなどについて興味をもっていただけると嬉しいです。

よりわかりやすく、おもしろいメルマガにするために、サポーターの皆さんからご意見、ご感想をお待ちしています！

事務局メールアドレス：

info@orangutan-research.jp

=====

■ NPO法人日本オランウータン・リサーチセンター(おらけん)

Japan Orangutan Research Center (JORC)

<http://orangutan-research.jp>

■ facebookにて、おらけん最新情報を発信中！

<https://www.facebook.com/orangutan.research/>

■ 登録解除やアドレス変更は、下記アドレスまでご連絡ください。

info@orangutan-research.jp

◇メルマガ解除はこちらよりも行うことができます。

{DELURL}

=====

{YEAR}年{MONTH}月{DAY}日{HOUR}時{MINUTE}分{SECOND}秒 {WEEK-JP}曜日

印刷